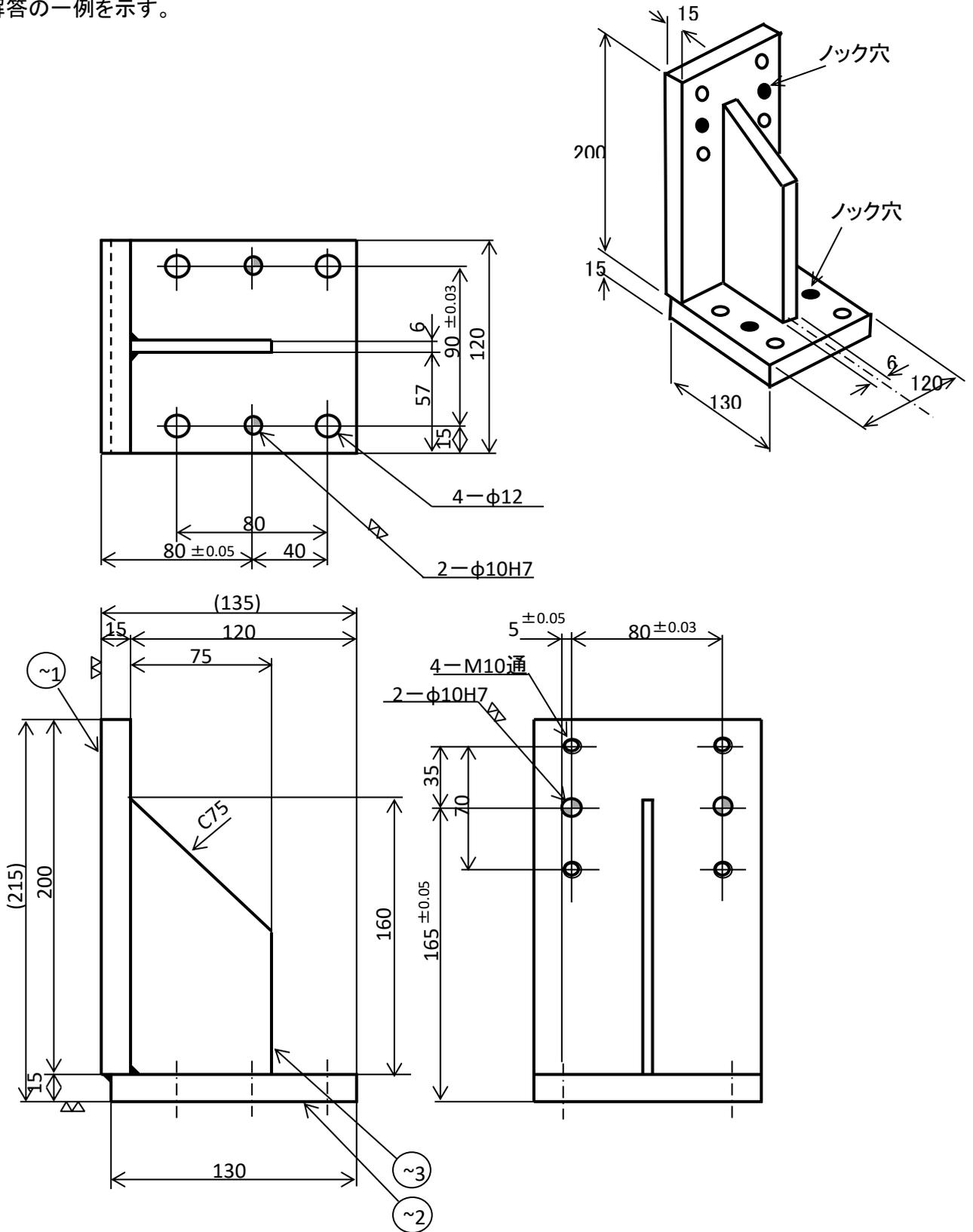


【練習問題1 解答例】

解答の一例を示す。





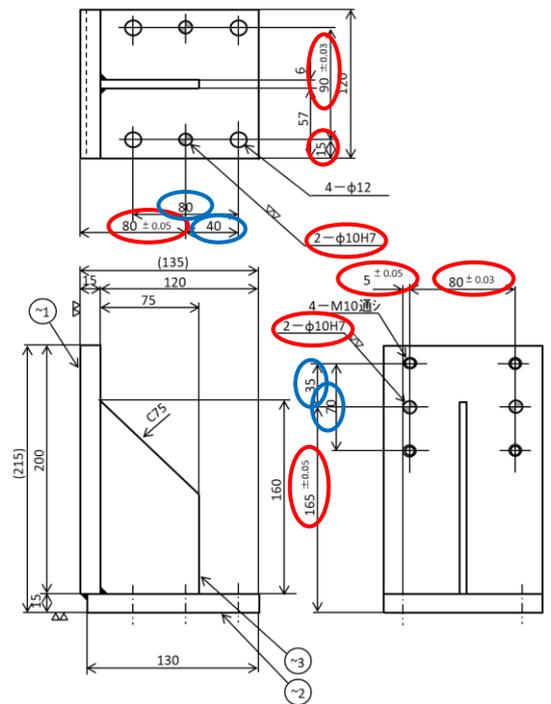
(5) 精度が必要な穴加工

- ・位置精度が必要な穴(H7穴)、精度が不要な穴とあけていく。
- ・精度が必要な穴の位置を決めるために基準を明確にして、そこから寸法を入れる。
- ・寸法の入れ方で加工順番も指示できる。

(6) 精度が不要な穴加工

- ・精度が不要な穴も、基点を決めて、そこから寸法を入れる。

- ・製作の各工程で見る寸法が違う。
- ・各工程で見る寸法は、関連付けて入れられると図面をあちこち見ないで済むので、図面を理解する時間も少なく、ミスも少なくなる。



(7) 機能的に必要な寸法・公差が入っているか確認する。

- ・この部品は部品と部品をつなぐ部品なので、つなぐ位置関係寸法精度が重要である。
- ・部品同志の結合部のノックピンのピッチは精度が出ていないと打ち込めないで重要である。

(8) 最後に最大寸法が入っているか確認する。

